

令和7年度 産学懇談会(第1回)を開催しました

— 東京都立工芸高等学校 —

7月11日(金)東京都立工芸高等学校を会場として、今年度第1回の産学懇談会を開催しました。同校は、1907年に創立した伝統校であり、設立委員会の委員長は実業家の渋沢栄一であったと言われています。現在は全日制課程にアートクラフト科、マシンクラフト科、インテリア科、グラフィックアーツ科、デザイン科の5学科を設置し、定時制課程にデザイン科を除く4学科を設置しています。都立の専門高校の中では、毎年たくさんの志願者がいることもあり、当日は多くの方に参加いただきました。以下のように画像を中心に、その概要を紹介します。

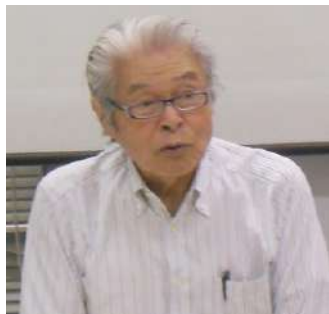


挨拶

東京都産業教育振興会

西澤 宏繁

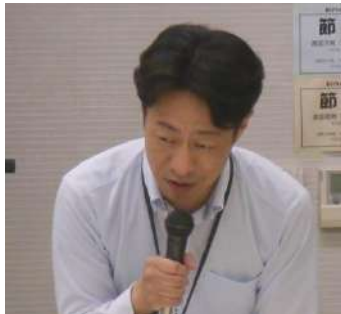
会長



東京都教育委員会

田中 智弘 教育庁指導部

高等学校教育指導課 指導主事



会場校

深澤 栄次

東京都立工芸高等学校長



校内見学

校内見学では、実習室ごとに担当の先生方の詳しい説明を受けながら、特色ある施設・設備を見学するとともに、完成度の高い様々な生徒作品を拝見することができました。放課後にも関わらず多くの生徒が実習室に残り、作品制作に熱心に取り組んでいました。また、見学者からの質問に、明るくしっかりと答えてくれる生徒さんの姿に感心しました。





懇談会

1 学校概要と特色ある取組の紹介

会場校の深澤校長先生から、学校の沿革、学科の概要、進路の特色等について説明していただきました。ものづくりに取り組んでいます、「工業」というより「芸術」という言葉が当てはまる学校であると感じました。

2 参加者からの質問・感想・意見交換

参加いただいた中学校、高校、専修学校、企業、団体、教育委員会の皆様から、入学者選抜やキャリア教育などについて質問があり、校長先生をはじめ全日制・定時制各々の先生方が丁寧に答えていただき、とても有意義な機会となりました。



3 謝辞

東京都産業教育振興会 会長 西澤 宏繁

都立工芸高等学校の皆様には大変お世話になりました。心より感謝申し上げます。